



収穫
・収穫適期は、7割程度の粉が黄化し、穂首に近い粉はわずかに緑色が残っている時期。
・高温下の登熟なので、普通期栽培より収穫適期が短い(5日間程度)。

水管理
・収穫1週間前までは、間断かん水又は飽水管理を続ける。早い時期の落水は、登熟不良・品質低下を招く。
・台風襲来時は茎葉からの蒸散が大きいため、深水とする。

病虫害防除 section containing:
- 種子消毒 (Seed disinfection)
- 箱施薬 (Box application)
- 粉剤体系 (Powder system)
- 液剤体系 (Liquid system)
- 粒剤体系 (Granule system)
- 病害虫 (Pests and diseases)
- スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) (Succinea, Giant pond snail)
- 農薬の飛散に注意 (Pay attention to pesticide drift)

土づくり
◎家畜ふん尿処理物の利用
◎土壌改良資材の施用
Table with columns: 施用の時期, 資材名, 施用量(kg/10a), 備考

Table for fertilizer application (施肥) for Koshibikari and Yumetsukushi, showing fertilizer names, base fertilizer, topdressing, and components.

●穂肥は1回を基本とし出穂20~18日前(幼穂長2~5mm)に行う。
●穂肥の時期、量は葉色・莖数・草丈等から判断し、早期水稲情報等を参考にし行う。

基肥が側条施肥の場合
●肥料はくみあい機施肥専用242号(12-14-12)を使用する。

Table for full fertilizer application (基肥一回全量施肥) showing fertilizer names and components for Koshibikari and Yumetsukushi.

Table for weed control (除草) with columns: 剤型, 除草剤名, 使用時期, 使用量(10a当り), 使用上の注意

◎初期除草剤
◎中後期除草剤
●早期栽培では雑草の発生が遅くなり、発生時期が長期にわたるので、収穫後早めに耕し、翌年以降の雑草発生量を抑える。

Table for weed control (除草) with columns: 対象雑草, 除草剤名, 使用時期, 使用量(10a当り), 使用上の注意